



地域連携だより

本年4月から、関西医科整形外科教室から整形外科に新任医師が赴任しました。

当院の整形外科には、平成27年12月に中島部長が就任し、「救急外傷」の受け入れ強化を行っております。加えて関西医科大学の関連病院として医師の派遣を頂いております。

整形外科部長として中島医師の赴任から6年が経過し、整形外科救急搬送件数及び手術件数は年々増加し、これもひとえに先生方のご紹介の賜物であると心より感謝しております。



すずき くにひろ

鈴木 國大 2018年卒業

本年度から東大阪病院整形外科に赴任しました鈴木國大です。関西医科大学を平成30年に卒業し、卒後関西医科大学で研修を行った後、大学関連病院での勤務を行い現在に至ります。少しでも地域医療に貢献できるよう日々の診療に取り組んでまいります。よろしくお祈りいたします。

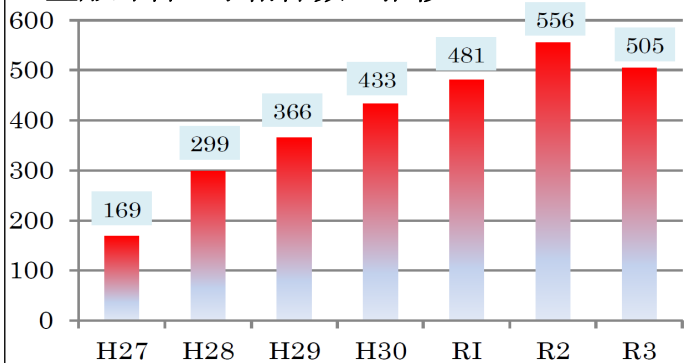


ふくだ なおひろ

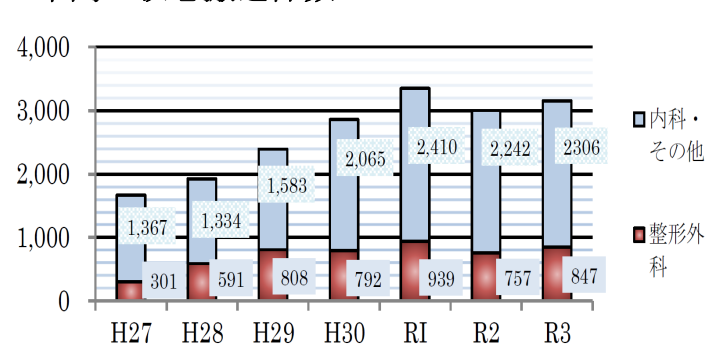
福田 直弘 2019年卒業

関西医科大学整形外科医局より参りました。福田直弘と申します。平成31年卒業で医師として4年目です。若輩者ではありますが、日々の診療に不足なく、城東区の整形外科診療のお役に立てるようよう、日々精進・努力させていただく所存です。今後とも宜しくお願い申し上げます。

整形外科 手術件数の推移



年間の救急搬送件数



ここ2年間、新型コロナ感染が蔓延している状態で、全体の救急搬送件数は昨年より盛り返し、整形外科救急も増加しました。整形外科の手術件数は少し減少しましたが、当院は『24時間、365日体制』で整形外科医師が救急受け入れ対応をしています。



先生が外来・在宅で診られている患者さん、施設で管理されている患者さんで、緊急で整形受診が必要な時に、ご相談いただけたらと思います。

画像診断も体制強化をしておりますので放射線関連の検査依頼も何卒よろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症の経口治療薬について

新型コロナウイルスの感染拡大が続き、現在様々な治療薬の研究が進み、2021年12月にラゲブリオ®が認可され、2022年2月にパキロピッド®が特例承認されました。当院でもラゲブリオ®を数例使用しています。

今回、新型コロナウイルス感染症経口治療薬ラゲブリオ®・パキロピッド®の比較表を掲載させていただきます。

一般名(商品名)	モルヌピラビル(ラゲブリオ®カブ粒)	ニルマレルビル・リトナビル(パキロピッド®錠)
使用時期/投与期間	発症 5 日以内 / 5 日間	発症 5 日以内 / 5 日間
対象	軽症～中等度 I で重症化リスク因子を有する <u>18 歳以上</u>	軽症～中等度 I で重症化リスク因子を有する <u>成人及び 12 歳以上かつ体重 40kg 以上の小児</u>
重症化リスク因子	61 歳以上・活動性がん(免疫抑制または高い死亡率を伴わない癌は除く)・慢性腎臓病・慢性閉塞性肺疾患・肥満 (BMI30 以上)・重篤な心疾患(心不全、冠動脈疾患または心筋症)・糖尿病など	60 歳以上・BMI 25 超・喫煙者 (過去 30 日以内の喫煙があり、かつ生涯に 100 本以上の喫煙がある)・免疫抑制疾患又は免疫抑制剤の継続投与・慢性肺疾患 (喘息は、処方薬の連日投与を要する場合のみ)・高血圧・心血管系疾患・糖尿病・慢性腎臓病・限局性皮膚がんを除く活動性のがんなど
用法用量	1 回 800 mg(4 カブ粒)を 1 日 2 回服用  ※腎肝機能や体重に応じた用量調節は不要 ※透析患者への投与 OK ※女性は最終服用後 4 日間は避妊が必要、男性は移行少ないため避妊不要	ニルマレルビル 1 回 300 mg(2 錠)+リトナビル 1 回 100 mg(1 錠)を同時服用 ※中等度の腎障害時(60 > eGFR > 30)はニルマレルビル 1 回 150 mg(1 錠)+リトナビル 1 回 100 mg(1 錠)を同時服用  ①朝、夕服用分のニルマレルビル錠を中央から最も近い錠剤(赤丸部)を 1 錠取り除く。⇒②シートの空きポケットを覆うように[中等度の腎機能障害患者における投与量]シールを正確に貼り付ける。⇒③処方するシート 5 枚①②を繰り返す。
禁忌	妊婦又は妊娠している可能性のある女性	腎機能又は肝機能障害のある患者でコルヒチン投与患者
併用禁忌	なし	高脂血症治療薬⇒ロシタトメシ酸塩(ジヤクスル°ット®)、抗凝固薬⇒リパロキサラン(イクザレルト®)、降圧薬⇒ルメシタン、メトプロロール、アゼルシベリン(レザルタ配合錠®)、アゼルシベリン(カブレット®)、抗不整脈⇒アミオダロン塩酸塩(アムカ)、ヘパリジン塩酸塩水和物(ヘパリコール®)、フルカイント(カボコール®)、プロパフェノン(プロパ®)など、 その他多数あり!
注意事項ポイント	・授乳婦は治療の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続または中止を判断。 ・レムデシビルや抗体治療薬との併用 OK! ・吸収に関して食事の影響を受けない。 ・脱カプセルは承認外。 ・カプセルが大きいため(直径 21 mm)嚥下障害時、服用困難の可能性あり。	・eGFR < 30 は投与推奨しない。 ・妊婦には治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与。授乳婦は治療の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続または中止を検討。 ・粉砕および簡易懸濁はデータがなく推奨しない。 ・パキロピッドの治療を優先し併用禁忌薬を中断した場合、再開時はリトナビルの代謝酵素への影響を加味し、パキロピッド服用終了後 3～5 日程度あけ再開を検討する。(t ½ : 7～13 時間)